



埴輪分布調査

第 10 次調査（平成 18 年度）前方部頂の確認調査

前方部頂における事前調査の一つとして、分布調査を実施。実際に掘り始める前に、地表面で採集できる埴輪片や土器片を 1 m 方眼ごとに拾い集めて記録した。



金属探知



物理探査（磁気探査）



物理探査（地中レーダ）

第 10 次調査（平成 18 年度）前方部頂の確認調査

前方部頂における事前調査の一つとして、物理探査を実施。探査前には表面に散乱する金属ゴミを取り除くため、表土を除去した後も金属探知機でそれらを除外した。探査では地中レーダ探査と磁気探査を行い、地中における土の堅さの変化や金属に関する反応を調べた。



作業風景（第 25 トレンチ）



埴輪の出土状況（第 25 トレンチ）



作業風景（第 25 トレンチ）

第 10 次調査（平成 18 年度）前方部頂の確認調査（第 25 トレンチ）

発掘調査の結果、調査トレンチ内では大きな攪乱が確認され、後世に投げ込まれたと思われる多くの埴輪片を確認したため、前方部頂にも埴輪列が存在したことを推測できた。また物理探査で指摘された土の変化や金属反応についての手がかりは、今回の調査範囲内からは確認できなかった。



作業風景（第 26 トレンチ）



トレンチ全景（第 26 トレンチ）

第 10 次調査（平成 18 年度）くびれ部の確認調査（第 26 トレンチ）

古墳北側の 2 段目くびれ部付近の調査トレンチ。後円部側と前方部側から崩れてきた葺石や埴輪が多数確認された。後円部側の基底石は不明瞭であったものの前方部側は確認できたため、後円部と前方部がつながる接点は把握できた。



作業風景（第 27 トレンチ）



トレンチ全景（第 27 トレンチ）

第 10 次調査（平成 18 年度）前方部の確認調査（第 27 トレンチ）

前方部 3 段目南角付近の調査トレンチ。前方部の形状を復元するために、葺石基底石を期待したが、斜面葺石を含め確認できなかった。しかしながら、墳丘の 2 段目から 3 段目に変わる境界付近において、盛土の違いが確認できた。



作業風景（第 28 トレンチ）



トレンチ全景（第 28 トレンチ）

第 10 次調査（平成 18 年度）前方部の確認調査（第 28 トレンチ）

前方部 2 段目前面側（西側道路際）の調査トレンチ。前方部の前面にあたる位置を確認するために行ったものの、斜面葺石を含め基底石は確認できなかった。しかし、墳丘 1 段目の地山の上に、黒ボク土と粘土の互層となる盛土を観察できた。